

令和7年度 兵庫教育大学附属小学校 学校評価

(教育課程特例校関係分)

兵庫教育大学附属小学校

1 教育課程特例校としての取組

本特例は、本校の学校教育目標「人間として生きぬく力」の実現を基盤として、「新たな価値の創造に挑戦する子ども」の育成を目指し、生活科・総合的な学習の時間を中心とした STEAM 教育を推進しており、その学習の基盤となる情報活用能力を計画的・体系的に育成するため、情報活用能力の習得を主たる目的とする「情報活用科」を設置するものである。

2 自己評価及び学校関係者評価

自己評価	達成状況 (4段階評価)	関係者評価 (附属学校学校運営協議会での意見)
【成果】 ○基本的な操作、情報モラル・情報セキュリティ、情報及び情報手段の特性に関する理解等を情報活用科において習得できた。 ○生活科・総合的な学習の時間において活用・発揮するという関係を明確にすることができた。 ○年間指導計画作成により、情報活用能力を計画的・体系的に育成するための教育課程上の基盤を整えることができた。 ○情報活用科で習得した知識及び技能を、各教科等や STEAM 単元において、活用・発揮しようとする姿が見られた。 【課題】 ○探究的な学習の過程において、子ども自身が必要な情報手段を判断し、自ら選択して活用・発揮しようとする姿は、断片的であった。 ○年間指導計画を進める中で、学年間で学習内容の一部に重なりが見られた。	4 (予定以上)	○情報活用科の取組は、子どもたちが自ら情報を選択し、深く考え、意図をもって発信する力を育成する点で、非常に意義がある。 ○単なる ICT 機器の操作にとどまらず、探究的な学習と結びつけることで、思考力・判断力・表現力等を統合的に高める取組として大いに期待できる。 ○情報活用科の取組は、大変魅力があり、子どもたちの情報活用能力が伸びるなど、よい影響となっている。 ○情報活用科の取組をはじめ、大学との共同研究を充実させていることは、児童の学びがより一層深まるとともに、教員の指導力向上にも大きく貢献している。 ○情報活用科は予定以上の成果を挙げている。この取組を令和8年度から研究開発学校への取組へとつなげ、より発展させていくことが重要である。